

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

●6日のWTI原油は、前日比0.26ドル安の63.55ドルとなった。  
 米国とイランは6日、イラン核開発問題を巡る高官協議を中東オマーンの首都マスカットで行った。イランによるウラン濃縮活動停止などについて合意を模索するもので、イランのメディアによると、同国交渉団を率いたアラグチ外相は協議後、「互いの見解を示し、良い協議ができた」と述べ、交渉を続けることで一致したと語った。

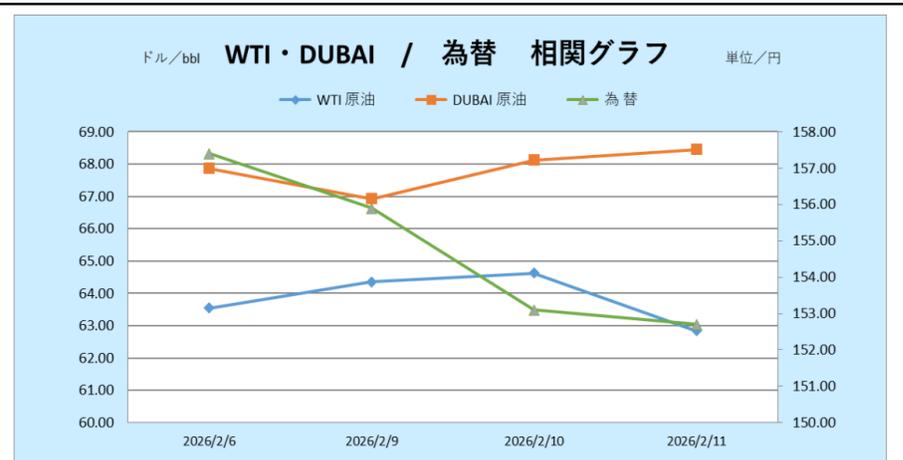
●9日のWTI原油は、前日比0.81ドル高の64.36ドルとなった。  
 米運輸省の海事局は9日、ホルムズ海峡やオマーン湾付近を航行する米国船籍に対し、航行の安全を損なわない程度に、可能な限りイラン領海から離れ、オマーン領海に近い航路を取るよう勧告した。

●10日のWTI原油は、前日比0.40ドル安の63.96ドルとなった。  
 米国とイランの関係緊迫化で供給混乱リスクが高まるとの警戒感が広がり、前日の相場は清算値ベースで1%超上伸。

●11日のWTI原油は、前日比0.67ドル高の64.63ドルとなった。  
 10日、米政府当局者が、イランへの圧力強化を目的に、イラン産原油を輸送するタンカーの拿捕(だほ)を検討していると報じた。

●12日のWTI原油は、前日比1.79ドル安の62.84ドルとなった。  
 IEAは12日に発表した月次報告で、2026年の世界の石油需要見通しを日量85万バレル増とし、前月の見通しから下方修正した。

2026/2/13 12:00現在 WTI原油 62.70ドル 為替 1ドル 153.95円



【次回価格変動予想】

2/19~2/25

【市況総括】

ガソリン	➡	±0 ~ 0.5
灯油	➡	±0 ~ 0.5
軽油	➡	±0 ~ 0.5
A重油	➡	±0 ~ 0.5
LSA	➡	±0 ~ 0.5

※原油コスト「±0円~+0.5円」  
 ※補助金 前週比±0円  
 ※現時点での予測です。

【今週】今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「+3.0円」、補助金は、全油種「±0円」、都合、全油種「+3.0円」の改定となった。  
 【来週】次回の元売り改定は、原油コストは「±0円~+0.5円」、補助金は「±0円」で、都合全油種「±0円~+0.5円」の改定予測となっている。

【次世代エネコラム】

＜ 横河電機、次世代原発SMRの制御で英ロールス・ロイス系と協業 ＞

横河電機は英ロールス・ロイスSMRと、小型モジュール炉(SMR)と呼ばれる次世代原子力発電施設向けの制御システムで協業すると発表した。横河電機のデータ処理や制御システムを提供する。ロールス・ロイスSMRが英国や欧州で建設を目指すSMRへの提供を目指す。横河電機は石油化学プラント設備などで多数のデータを統合し制御するシステムに強みを持つ。SMRに携わるのは初めてという。今回の協業ではSMR向けの基幹制御システムの開発、認証取得、設置、試運転などに参加する。SMRは従来の大型原子炉と比べて建設期間が短く、コストを抑えられるとされる。ロールス・ロイスSMRは英航空エンジン大手のロールス・ロイス傘下。潜水艦向けに提供してきた小型原子炉の知見などを生かしてSMRの実用化を目指している。